

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成する資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成する資質・能力
ま：学びをいかそうとする子（知） ※（知）のみ記載	〈自分づくりに関する力〉 〈問題発見・解決能力〉

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○学校教育目標具現化のために育成を目指す資質・能力と教育活動について検証し学力向上と児童指導の充実に取り組みます。</p> <p>○信頼される学校づくりのために、学校広報の充実、地域連携、コンプライアンスの徹底、安全管理等に取り組みます。</p> <p>○効率的な学校運営を実現するために、人材育成、校内組織、環境整備、情報の共有化、校務のICT化等に取り組みます。</p>

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	<p>①授業研究会、少人数指導、教科分担制を実施する。</p> <p>②朝学習、朝読書、家庭学習を活用する。</p> <p>③教科領域の研修等を実施する。</p>
担当	研究委員会

2 令和2年度学校評価アンケート児童集約から実態把握

(1) 学力の状況

- 学習意欲の向上がみられる。
- 問題や課題に対して、友達や教師と話し合いながら解決しようとしている児童が多くなってきている。
- 学校図書館の利用も増えている。
- 考えを伝える（発表する）ことに抵抗がある児童がいる。
- 読書量に偏りがある。
- 家庭学習の時間が多くはない。

(2) 今後の方向性

授業研究、研修の実施 ⇒ 子どもが「主体的・対話的に学ぶ」授業を目指して校内研究、研修を進めていく。

朝学習、家庭学習 ⇒ 研究委員会を中心にブロックや学年で「ねらい」をもって取り組む。
⇒ 家庭学習は、手引きを作成し、家庭に周知していく。

		H30年度	R元年度	R2年度
(1) 主体的に学ぶ姿勢を育てるために授業研究会や少人数指導を実施する。				
1	授業では、自分の考えを発表していますか。 「よくしている」「どちらかといえばよくしている」の割合の合計【70%以上=市の目標値】	今宿小	63	75
		横浜市	62	
2	学校の授業は、分かりやすいですか。 「よく分かる」「だいたい分かる」の割合の合計【80%以上=市の目標値】	今宿小	78	93
		横浜市	76	
3	今年度受けた授業では、課題の解決に向けて、自分から取り組んでいたと思いますか。【80%以上=市の目標値】	今宿小	78	88
		全国	77	
4	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。「もう思う」「どちらかといえば思う」の割合の合計【82%以上=市の目標値】	今宿小	71	90
		全国	78	
(2) 朝学習・朝読書、家庭学習（課題と自主学習）を活用し主体的に学ぶ姿勢と基礎学力の定着を図る。				
5	学校図書館に行くことが好きですか。 「好き」「どちらかといえば好き」の割合の合計【80%以上】	今宿小	87	90
		横浜市	82	
6	1日にどのくらい読書しますか。 「30分以上」の割合の合計【60%以上】	今宿小	47	59
		横浜市	49	
7	家では、1日どのくらい勉強をしていますか。 基準時間以上勉強している割合【70%以上=市の目標値】	H30年度	R元年度	R2年度
		全校平均	45	49

令和2年度学校評価アンケート児童集約抜粋

3 令和3年度教育課程全体で育成する資質・能力と具体的取組

【授業研究等】

学年	育成する具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<p>〈主体的・積極的に人と関わろうとする姿勢〉</p> <p>〈感じたことを言葉にする力〉</p> <p>〈好奇心〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○話している人の方を向いて最後まで話を聞く習慣をつける。 ○友達同士で学び合えるように、ペア学習の機会を取り入れる。 ○気持ちを表す言葉を掲示するなどして、言葉に触れる機会を作る。 ○日常生活や身近な事柄と学習をつなげていけるような導入を心がけ、好奇心をもって学習に臨めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話している人の方を向いて最後まで話を聞く習慣をつける。 ○意図的なペア作りをしたり、効果的な学習活動を取り入れたりして、ペア学習の質を高める。 ○気持ちを表す言葉を掲示するなどして、言葉に触れる機会を作る。 ○相手意識と目的意識を明確にし、見通しをもって学習に取り組めるような単元づくりをする。
2年	<p>〈相手の思いを受け止めて聞く力〉</p> <p>〈自分のよさを知る力〉</p> <p>〈好奇心〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○聞き方の基本姿勢をしっかり身に付けるように日々繰り返し指導をする。自分の話を聞いてもらって気持ちがよかったと感じられる経験ができるような場を作っていく。 ○子ども一人ひとりのよさを教師が率先して見つけて、褒め、意図的に指導していく。子どもたち同士でよさを見つけ合える（共有し合える）ようにする。 ○導入場面で、日常場面を生かした学習課題を設定し、好奇心をもって取り組めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○話を聞く際に、頷いたり返事をしたりしながら自分の意思を表すことができるようにモデルを示す。 ○子ども一人ひとりのよさを教師が率先して見つけて、褒めるよう意図的に指導していく。子どもたち同士でよさを見つけ合える（共有し合える）ようにする。 ○学習に対する意欲を高められるよう個々に応じた支援をする。
3年	<p>〈伝え合うことで自分の考えを深化させる力〉</p> <p>〈協働的に行動する姿勢〉</p> <p>〈経験をもとに考える力〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○互いの意見の共通点や相違点に着目する言葉かけをする。 ○相手の意見を取り入れながら、自分の考えを話すことができるように話型を示す。 ○学習の見通しがもてるように、授業初めには流れの確認をする。 ○役割分担を明確にする。 ○理科・社会では、1・2年で学習した生活科での体験活動を想起させ、そこでの「気持ち」を実際の活動につなげていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手に伝わりやすいよう、伝える順番を考えて話せる話型を提示する。 ○相手の考えと自分の考えを比較し、同意したり意見を付け足したりして考えを深められるよう、大事なところに注意して聞くよう言葉掛けをする。 ○「自分で考えて行動する」「聞いてから行動する」ところが分かるように声かけをする。 ○係活動や学級会など、自分たちで考えつくりあげていく活動を設ける。 ○言葉の宝箱の掲示をし、気持ちを表現する言葉を増やす。 ○「考察」「結果」の違いが明らかになるようにする。

4年	<協同的に行動する姿勢> <結果から学ぶ意識> <日常生活と比較する力>	○グループで活動する場面で、相手の意見を聞き入れ、受け止め、良さを見つける。話し手も聞き手に伝わるように、要点をまとめるようにする。結果に左右されず、その結果を受け止め、踏まえてさらに向上しようとする。 ○学習したことを毎時間振り返ることで、そこで得た満足感・達成感を日常に生かせるようにしていく。	○「聞く力」を養うために、自分の意見との相違点を具体的に考えながら意識して聞くように指導する。 ○振り返りは、友達との関わりを振り返るようにする。
5年	<自分のめあてを決める力> <伝え合うことで自分の考えを深化させる力>	○単元の初めに既習事項を確認したうえで身に付けたい力を明らかにし、見通しをもたせる。振り返りでは、学んだことに加え、次時への見通しをもたせる。 ○児童の必要感に応じて、ペアやグループ学習を行う。 ○自分と友達の考えのちがいに気が付き、自分の考えを深めたり物事を多面的に捉えたりできるようにする。 ○学習の見通し(単元、次時)をもってめあてを立てる。めあてを基に振り返る。	○学習の見通し(単元、次時)をもってめあてを立てる。めあてを基に振り返る。 ○ペアやグループ学習を行い(組み方を工夫する)、友達の考えを聞いて自分の考えがどのように深まったのか振り返る。 ○身に付けたい力を明確にし、課題に対して自分の思いや考えをもてるよう、ワークシートの工夫をする。
6年	<他者に的確に分かりやすく伝える力> <目的や意図に応じて伝えるべきことを整理する力> <他者を理解する態度・自己を理解する態度>	○自分の考えをもてるようにするために、考えを表現する時間を確保する。 ○的確な伝え方を知るために、よい伝え方ができた児童をピックアップし、共有していく。 ○課題・問題解決のために、話し合いの目的を明確に示す。	○自分の考えをもてるようにするために、考えを表現する時間を確保する。 ○的確な伝え方を知るために、よい伝え方ができた児童をピックアップし、共有していく。 ○課題・問題解決のために、話し合いの目的を明確に示す。 ○課題・問題解決のために、子どもたち自身で話し合う場面を設定する。
個別	<互いの考えの違いの気づき伝える内容を明確にする力> <問題を理解する力> <自分のめあてを決める力> <経験をもとにかんがえる力>	○学習課題についての自分の考えが明確になるように、考えをまとめる時間を十分に設ける。 ○考えを整理する際には、本人の特性に合わせた(視覚的・聴覚的等)支援を行う。伝え方についても一緒に考える。 ○活動ごとの振り返りをしっかり行い、経験を蓄積していくことで、次回の活動に生かせるようにする。	○学習課題についての自分の考えが明確になるように、考えをまとめる時間を十分に設ける。 ○考えを整理する際には、本人の特性に合わせた(視覚的・聴覚的等)支援を行う。伝え方についても一緒に考える。 ○活動ごとの振り返りをしっかり行い、経験を蓄積していくことで、次回の活動に生かすことができるようにする。
共通取組	・一単位時間、単元における子どもの「話す・聞く」の具体化 ・振り返りの視点の具体化とめあての設定		

【朝学習】

学年	育成する具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1.2年	意欲・好奇心 問題・課題を見つける力	朝学習の取り組み方について学年で確認する。 ・算数、国語の曜日の設定 ・内容の確認（特別支援教育教材等の活用）	朝学習の取り組み方について学年で確認する。 ・算数、国語の曜日の設定 ・内容の確認（特別支援教育教材等の活用）
3.4年	意思決定する力 問題を理解する力	朝学習の取り組み方について学年で確認する。 ・算数、国語の曜日の設定 ・内容の確認	朝学習の取り組み方について学年で確認する。 ・算数、国語の曜日の設定 ・内容の確認
5.6年	より深く考える力 自分のめあてを決める力		

【家庭学習】

学年	育成する具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1.2年	意欲・好奇心 問題・課題を見つける力	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の取り組み方について「教える」 ・「めあて」の立て方や「振り返り」の仕方について指導 ・自主学習の取り組み内容を具体的に提示 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の取り組み方について「教える」 ・「めあて」の立て方や「振り返り」の仕方について指導 ・自主学習の取り組み内容を具体的に提示
3.4年	意思決定する力 課題解決に必要なものを選択する力	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の取り組み内容を各教科の学習内容と関連付け、提示 ・良い手本となる児童のノートを紹介し、価値付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の取り組み内容を各教科の学習内容と関連付け、提示 ・良い手本となる児童のノートを紹介し、価値付ける
5.6年	より深く考える力 情報収集して整理し判断する力	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の取り組み内容を各教科の学習内容と関連付け、提示 ・自己の課題に応じて自主学習の内容を考えるよう指導 ・良い手本となる児童のノートを紹介し、価値付ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習の取り組み内容を各教科の学習内容と関連付け、提示 ・自己の課題に応じて自主学習の内容を考えるよう指導 ・良い手本となる児童のノートを紹介し、価値付ける
共通取組	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年、課題や自主学習の内容について検討 ・「家庭学習の手引き」「学力向上通信」の配付 ・「やるそうコーナー」の設置（算数プリントアレンジャー） <p>【後期追記】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自主学習 day」の設定 		